

2020年8月19日

ATENA

現行のEAL判断基準や特重施設等を考慮した判断についての意見

	件名	概要	分類	反映時期	関係 EAL
1	原子力災害時の特重 秘密情報の取扱い	原災法に基づく通報等において情報管理の考え 方を整理したい。	運用上の 整理	短期（特重供用開始ま で）	全般
2	F/V 実施時の発信	現状、炉心損傷防止のための使用と定義されて おり、PWR の F/V 目的（格納容器破損防止） と異なるため、定義の見直しが必要と考える。	基準検討	短期（特重供用開始ま で）	43
3	同一 AL 内の複数判 断基準の精査	同一 AL 内の判断基準間で事象の深刻度に相違 があるため、整理したい。	基準検討	中期	11,21,25
4	判断基準のバラつき	原子炉等の状態が考慮されていない判断基準も あるため、EAL 間の事象深刻度に差異が生じて いることから、パラメータベースの判断基準の 設定も含め、EAL 判断基準の考え方を長期的に 検討したい。	基準検討	長期（あるべき論と合わ せて検討）	全般
5	判断基準の重複の精 査	GE 発出後の SE 発出、複数の GE 発出により通 報連絡が煩雑となるため、通報のあり方を整理 したい。	運用上の 整理	中期	全般
6	判断基準に考慮でき る設備の拡充 (BWR)	有効性評価にて有効性が確認できた設備が考慮 できていないため、考慮可能としたい。 (例) 低圧代替注水系（常設）、代替循環冷却系	基準検討	中期（新規制基準審査と 連動）	22,23,29 等